

## わいわい池の現状(5月28日)

- 1 ボウフラ(蚊の幼虫 ヒトスジシマカ)
- 2 アカムシ(蚊の揚州 ユスリカ)
- 3 サカマキガイ
- 4 イトミミズ
- 5 シオカラトンボのヤゴ シオカラトンボは時速40km  
各グループに2匹ずつ 全部で10匹  
大きいのは脱皮を繰り返したもの  
羽があるのはまもなく成虫になる



泥の中に住む

- 6 ギンヤンマのヤゴ ギンヤンマは時速60km 他のトンボを空中で捕まえて食べる  
2年かけて成虫になる トンボ界の驚・ハンター
- 7 ミズムシ 水中のダンゴムシのような生き物・枯れ葉を食べる
- 8 メダカ(目高) 目も口も上についている。水面に浮かぶものを食べる
- 9 様々なプランクトン

### 【ヒント:ビオトープづくりの質問に答えて】

- ・メダカの数やヤゴの種類がもつというかと思ったが、これから増えるとよい
- ・メダカはヤゴの餌になる 泳ぐ場所が狭い
- ・ドロが多いのですくうと水が増える  
池底はななめになっていて、結構深いので長靴では難しいくらい深さがある
- ・お世話することで様々な生き物が増えるように。まずは水を増やす  
生き物にとっていい場所をつくってあげて、生き物が来るのを待つ  
住みよくなると、飛んでくる生き物が他のところからやってくる
- ・見た目がキレイというのとは違う
- ・シオカラトンボのヤゴは泥がなくなると住めなくなる
- ・そうじやどろを掻き出すときに様々な生き物がいなかをチェックする  
生き物をレスキューしながらつくっていく
- ・きれいだから花を植えるのではなく、どんな生き物と呼ぶため何を植えるかを考える  
花のみつの出方・幼虫が食べる葉の種類